

(参考様式5)

## 平成22年度元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
三重県	熊野市 (旧紀和町)	紀和町	H17～H21	H17～H21

### 1 施策ごとの評価

#### (1) ソフト

##### ア 施策の内容:

紀和町における既存の交流施設等の関連性を持たせた利用方法や地域資源の活用、集客交流施設との連携を図り、紀和町独自のグリーン・ツーリズムの推進と新たな交流による地域づくりを推進する。

##### イ 施策の実績

(コメント)

丸山千枚田における体験交流事業が充実し、集客交流施設との連携も図られ相乗効果が生まれている。このことからグリーンツーリズム交流人口についても、徐々に増加している傾向にある。

##### ウ 施策の効果

(コメント)

●地域の特産品である「きじ」を活用したメニューについては、紀和町観光開発公社の看板メニューとして定着している。さらに、新たな特産品である「熊野地鶏」や香酸柑橘「新姫」を活用したメニュー開発も行い、旅行者らに人気を博している。このことによって、特産品の生産を行う紀和町ふるさと公社との相乗効果が生まれている。

●丸山千枚田での体験交流事業については、田植え・稲刈りだけでなく年間を通じて行われる様々な作業を体験メニュー化し、より深い交流が図られるようになった。また、地元ボランティアが主催する「虫おくり」では、参加者だけでなく観光客やカメラマンが見て楽しめるよう、1,000本の松明を田んぼに灯すなど魅力作りに努め、集客効果が現れている。

●歴史・文化を活かしたツアーについては、観光開発公社によって北山川の伝統漁法である「小鷹網漁」「火振り漁」が体験ツアーとして実施され、また丸山千枚田のホテル見学ツアーや農業体験メニューを取り入れたツアーを企画実践するなど、連携した取組に深まりが感じられている。

●丸山千枚田と熊野古道「通り峠」を周遊するマップは旅行者等に人気があり、集客する上で必須のアイテムとなっている。22年度中には改訂版を作成することとなった。

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

### 2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	農家民宿及び公設の宿泊施設における宿泊者数の増加率(人)	120	126	105%	
地域	事業を契機とした地域活動数・農家民宿及び公設の宿泊(回/年)	5	12	240%	
	グリーンツーリズム交流人口の増大(%)	120	94	78.33%	
	都市住民と交流する農地面積の増加(ha)	3	3	100%	
	丸山千枚田を活用した体験イベントの充実(回/年)	10	10	100%	
	歴史、文化を活かしたツアーの実施(丸山千枚田を含む)(回/年)	12	28	233.33%	
	ふるさと案内人の育成(人)	10	10	100%	
	民泊試験的実施(回/年)	3	6	200%	

(コメント) ※目標が未達成となった指標については、その理由を記載

●グリーン・ツーリズム交流人口の増大については、18年より坑内電車(トロッコ)が運休したことにより、施設間の連携が途絶え入込客が減少してしまったと考えられる。19年末より運行が再開されたため、現在は順調に入込客数が伸びている。

### 3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)

●丸山千枚田にかかわる体験交流事業は、年々深まりを見せており、その波及効果として地域活動も増えている。交流する農地面積についても、千枚田オーナーの田だけでなく、市で借用しているすべてのエリアを活用するまでになり、今後もより質の高い交流事業が展開されることを期待している。

●ツアーの実施においては、地域の歴史や文化、体験メニューを取り入れ、また育成された案内人らが協力しながら行われており、今後も継続しながらより魅力あるツアーを実施していく。

### 4 総合評価

(コメント)

計画当初からの施策は概ね継続されており、引き続き実行していくべきものと考えている。グリーンツーリズム交流人口についても、施策を実行していく中で目標の達成を目指していく。

### (都道府県の意見)

(コメント)

計画当初の目標は概ね達成できており、地域の独自性を活かしたグリーン・ツーリズムの推進が奏功していると評価できる。また、定期的なイベントの実施や特産品の開発により、継続的な地域づくりが期待できる。今後は未達成の指標である交流人口の増大について改善を要するとともに、地域の実情を考慮した方策を計画的に実施していく必要がある。